なかよし１・２組	道徳学習指導案	授業者	上垣　紀子 反中　美紗代

題材名	お月さまとコロ　１―（４）　素直な心
本時のねらい	うそをついたり、ごまかしたりしないで、明るく素直にのびのびと生活しようとする心情を育てる。

研究内容１

コロの姿を通して、すぐに怒ったり、すねたりしないよう心がけたり、これからの自分を見つめることができるようにさせたい。

	学習活動	研究内容２
つかむ	１、つい、わがままを言ったりごまかしてしまったことはあるか思い出す。 ○先生やお家の人にわがままを言ってしまったなあと思うことはありますか。 ・ない。　・ローマ字をやりたくない。 ・漢字のなぞり書きをしたくない。 ・○○がほしいと言ってお母さんを困らせたことがある。	・本時の価値を方向付ける。 ○話し方、聞き方に配慮する ・友達の方を見て話したり聴いたりすることができる。 ・友達の言葉につなげて話せるように声かけをする。
深める	２、資料「お月さまとコロ」を聴く。 ○ギロがおこって帰ってしまい、きゅうにさみしくなってしまったコロはどんなことを考えたんだろう。 ・おこったギロが悪い。　・へんなうた ・気持ちが悪いって言わなければよかったな。 ・悪いことを言ってしまったな。あやまろうかな。 ・ギロをおこらせてしまったな。 ●さびしいっていう気持ちがわいてきた時どんなことを考えていたのかな。 ・たった一人の友達がいなくなってしまった。	・場面絵を見せながら範読することにより、考えよう授業に参加しようとする気持ちを引き出す。 ○一人ひとりの反応を大切にする。 ・一人ひとりがつぶやいたりうなずいたりする反応ができる。 ・同じことでも繰り返して話すことができる。
	○コロはつゆのかがみに顔を映していると今までのことを思い出してかなしくなってきました。その時の気持ちをお月様に話してみよう。 ・やさしくすればよかったな。　・もう遊んでやるもんか。 ・今までひどいことばかり言ってだめだったな。 ・悪いことをしていたな。 ・これからはやさしくなろう。お月様みていてね。	・コロの心の変化に気づかせたい。 ・今までは何も考えずじぶんの言った事が相手を傷つけてしまったことに気付かせたい。
	○涙をふいてギロガ帰って行ったほうへかけ出した時、コロはどんな気持ちだったかな。 ・許して。　・ごめんね。 ・これからは嫌なことを言わないよ。 ・友達と仲良くしよう。 ・みんなにあやまろう。	○役割演技 ・順番を守ってできる姿をほめる。 ・素直な子になってほしいと言う思いを持たせる。 ・お月様に自分の気持ちを話すことでコロが後悔したことに気付いて話ができる。
まとめる	３、わがままを言ったことがあったけれど、そのことについて今はどう思いますか。 ・悪いことをしてしまったんだな。 ・わがままを言わないようにしたい。 ・これからは気をつけたい。 ４、教師の説話	・友達の考えを聞き、素直になろうとする心を高める。